

ハンセン病市民学会

第16回 総会・交流集会 in 長野

2022年 6月11日(土) ホクト文化ホール(長野市)

6月12日(日) JAアクティーホール、JA長野県ビル

*会場はいずれも車イス対応で身障者用トイレもあります。

6月12日(日) 午後フィールドワーク(「善光寺と被差別民」)

主催 ハンセン病市民学会

共催 「第16回ハンセン病市民学会全国交流集会 in 長野」開催地実行委員会

賛同 長野県 長野市 他(当日全表示、現在50機関団体)

後援 報道機関(現在15社)

ハンセン病問題の前で、一度でも立ち止まってみたあなた、

少しでも考えてみようと思ったあなた、

そんなあなたであれば、どなたでも参加は自由です。

ハンセン病問題には、まだまだ大きな課題があります。

私たちは今、光を見失ったかのような大きな時代のうねりの中で、

どういふ社会に生きたいのか、どういふ社会を願うのか、

そして私たち自身がどんな生き方を選びたいのか、

真剣に考えなくてはならない曲がり角に立っています。

ハンセン病問題は、そんな私たちの固い扉を開いていくための光であり、

一人一人の考える力、行動する力が試されている問題でもあります。

交流集会は、そんな一人ひとりが考える場であり、そんなみんなが集う場です。

会員以外のみなさんのご参加も歓迎いたします。

● 参加費 全日程 2000円 ● 高校生以下は参加費無料

● 弁当 必要な方は別紙「参加申込書」にて必ずご予約ください。(当日受付はありません)

【参加申込方法】会場参加申込先 会場参加の方は、集会参加、宿泊、弁当、フィールドワークなど、予約は全て別紙「参加申込書」FAXで、必ずお申し込みください。

アルピコ長野トラベル(株) / 申込締切 5月6日(金) 厳守

オンライン参加申込先 <http://jinkennagano.com/>

申込締切 5月25日(水) 厳守

開催地実行委員会：NPO人権センターながの

URL <http://jinkennagano.com/> (特設ページをご覧ください)

● 手話通訳などの対応を予定。

● お問い合わせ先：ハンセン病市民学会事務局 06-4394-7078

● 開催地実行委員会：NPO法人人権センターながの 026-225-5045

第 16 回ハンセン病市民学会全国交流集会 in 長野

日 時 2022年6月11日(土)～12日(日) 【12日(日)午後講演・フィールドワーク】

会場 11日(土) ホクト文化ホール(中ホール)(長野市)
 12日(日) JAアクティールホール、JA長野県ビル12F(A、B、C会議室)
参加規模 800人⇒会場参加 ◆コロナ感染状況により段階的対応
 オンライン参加対応有り

全体会 6月11日(土)

分科会 6月12日(日)

● 6月11日(土)

		11:30	12:45	14:00	17:00	
会場：ホクト文化ホール (中ホール)	受付	開会 総会 ※公開	開会行事(来賓挨拶) 交流集会(全体会)		レセプション 中止	

● 6月12日(日)

		8:30	9:15	12:00	12:45	14:00	14:15	15:15	17:15
	受付	分科会(4会場)		昼 食	まとめ 全体会	特別企画			
		一	JAアクティールホール			「善光寺と被差別民」			
		二	JA長野県ビル12F-A	・講演(事前説明・1時間)					
		三	JA長野県ビル12F-B	アクティールホール					
		四	JA長野県ビル12F-C	JAアクティールホール		・フィールドワーク2時間			

参加費

(1) 総会、全体交流会、分科会 2,000円(高校生以下は参加無料)

(2) 特別企画 「善光寺と被差別民」(講演とフィールドワーク) = 無料

*講演は参加自由ですが、その後のフィールドワークは申し込みが必要
 定員約50人(*県外参加者優先)

参加申込方法⇒会場参加の方別紙
 オンライン参加の方⇒表紙下段に明記

第16回ハンセン病市民学会総会・交流集会 in 長野

全体統一テーマ **求めてきたもの、そして今**
—新型コロナウイルス感染症とハンセン病問題 幾重もの分断を超えて—

● 6月11日(土)

1. 開会・総会 (12:45 ~13:40) 開場・受付 11:30 会場 ホクト文化ホール(中ホール)

総会 前年度報告、本年度活動方針、採択、人権賞表彰など

2. 開会行事・交流集会(全体会)(13:40 ~ 17:00) 会場 ホクト文化ホール(中ホール)

来賓挨拶 長野県知事 阿部守一
長野市長 荻原健司

来賓紹介

全体会 一部「感染症差別について考える」

基調報告 北村直樹(立正大学湊南高等学校校長)

パネルディスカッション

パネリスト 鈴木利廣(弁護士)

奥田 均(近畿大学名誉教授)

宮良正吉(関西退所者原告団・いちょうの会会長)

アドバイザー

内田博文(ハンセン病市民学会共同代表/九州大学名誉教授)

コーディネーター

徳田靖之(ハンセン病市民学会共同代表/ハンセン病国賠訴訟弁護団代表)

二部 対談 伊波敏男(ハンセン病回復者/作家)

徳田靖之(ハンセン病市民学会共同代表/ハンセン病国賠訴訟弁護団代表)

● 6月12日(日) 午前

分科会 (9:15 ~12:00)

会場: JA アクティーホール

【分科会第一】「ハンセン病問題から学び、伝える

—学校におけるハンセン病家族の差別体験を受け止め、活かす—

報告者 ハンセン病家族訴訟 原告番号 21 番

原告番号 169 番

原告番号 188 番

パネルディスカッション

パネリスト 島 翔吾(ハンセン病家族訴訟弁護団)

辻 央(沖縄愛楽園交流会館学芸員)

江連恭弘(ハンセン病市民学会教育部会世話人)

コーディネーター 相川 翼(ハンセン病市民学会教育部会事務局)

会場: JA 長野県ビル 12F-A

【分科会第二】『明治三十二年癩病患者並血統家系調』流出問題を考える」

パネリスト 高橋典男 (NPO法人人権センターながの事務局長)
長野県関係者
畑谷史代 (信濃毎日新聞)
藤崎陸安 (全国ハンセン病療養所入所者協議会事務局長)
藤野 豊 (ハンセン病市民学会運営委員/敬和学園大学教授)

コーディネーター

遠藤隆久 (ハンセン病市民学会共同代表/熊本学園大学名誉教授)

会場：JA 長野県ビル 12F-B

【分科会第三】「療養所における喫緊の課題」

パネリスト 青木美憲 (ハンセン病市民学会運営委員/国立療養所邑久光明園園長)
森 和男 (ハンセン病市民学会共同代表/全国ハンセン病療養所入所者協議会会長)
小林洋二 (ハンセン病国賠訴訟弁護団)
山本直美 (国立療養所邑久光明園総看護師長)
原田寿真 (国立療養所菊池恵楓園社会交流会館学芸員)

コーディネーター

山本晋平 (ハンセン病国賠訴訟弁護団)

会場：JA 長野県ビル 12F-C

【分科会第四】「被差別当事者の声を聴く—差別解消の推進に向けた取り組みを考える—」

パネリスト 志村 康 (ハンセン病市民学会共同代表/国立療養所菊池恵楓園入所者自治会会長)
金 尚均 (龍谷大学法学部教授)
谷川雅彦 (部落解放・人権研究所代表理事)
佐藤 聡 (DPI 〈障害者インターナショナル〉 日本会議事務局長)

コーディネーター

内田博文 (ハンセン病市民学会共同代表/九州大学名誉教授)

会場：JA アクティールホール

● 6月12日(日) 午後

【まとめの全体会】 (12:45 ~14:00)

コーディネーター

宮坂道夫 (ハンセン病市民学会運営委員/新潟大学教授)

【講演とフィールドワーク】 (14:15 ~17:15) 「善光寺と被差別民」

講師 井原今朝男(国立歴史民俗博物館名誉教授/総合研究大学院大学名誉教授)

【教育部会】 (14:15~16:15) 「ハンセン病問題に係わる人権教育の現状と課題」

報告者 佐久間建 (ハンセン病市民学会教育部会世話人)

【宗教部会】 (15:15~17:00) 「『宗教的救癩思想』に向き合う

昨今の園長・副園長発言などに注目しながら」

問題提起 藤野豊(市民学会運営委員/敬和学園大学教授)

浜崎真実(市民学会宗教部会世話人)

コメンテーター 徳田靖之(市民学会共同代表/国賠訴訟西日本弁護団)

コーディネーター 訓覇浩(市民学会宗教部会世話人/市民学会事務局長)